



熱かった、川越百万灯夏まつり



浴衣姿で一斉に打ち水

7月27日・28日に行われた「川越百万灯夏まつり」。突然の大雨に見舞われるハプニングもありましたが、延べ14万5千人が訪れました。

打ち水では「涼しくなあれ」と子どもたちが道路に柄杓で水をまく姿が見られました。またOH! 通りゃんせ KAWAGOE で、自慢の踊りを披露した参加者は、夏の暑さをものともせず、会場をさらに熱く盛り上げていました。



さまざまな踊りが披露されました



囃子競演会では、思わず見入ってしまう人も



どんなに暑くても全力でダンス



ふおとニュース



なるほど！給食が出来るまで

市内の小学校20校分の給食を作る菅間学校給食センターで、8月21日に見学会が行われました。

参加した子どもたちは、給食が調理される設備に好奇心いっぱいの様子。自分たちの体より



食材に見立てたペットボトルのふたを「よいしょ」とかき混ぜます

はるかに大きな鍋や釜にびっくりしながら、かき混ぜ体験などを楽しみました。「給食がこうやって



大きな食器洗浄機に興味津々

作られると知って、すごくおもしろかった」と小学2年生の久保遼くん(六軒町)。

暑い日こそ 着物で粋に

着物が似合うまち川越を目指して誕生した「川越きもの日」が、8月18日に2周年を迎えました。

当日は、着



帯が一番映える結び方を考えます

物で気軽に散策してもらおうと、着付けや着崩れ直しを行うコーナーもあり、洋服で訪れた人が持



宵のまちを散策

参した着物姿に変身して蔵造りの町並みへ繰り出す様子も見られました。下野七慧さん(西東京市)は「川越の町並みを、着物で散策するといっそう楽しい気持ちになります」と笑顔で話してくれました。